

# 潮江東 地域コミュニティ計画 (2024-2028)



潮江東小学校区地域内連携協議会  
(通称:ひがし連携)



## I はじめに

あいさつ .....	1
第1期潮江東地域コミュニティ計画について .....	2

## II 計画本編

将来像・基本目標について .....	3
計画のスケジュール .....	5
取組内容 .....	6

## III 資料編

コミュニティ計画について .....	11
旧計画について .....	14
地域の現状・アンケート調査結果 .....	15
計画策定の経過 .....	19
地域の活動紹介 .....	21
参画者紹介 .....	22

## IV おわりに

あとがき .....	23
------------	----

## 「第1期潮江東地域コミュニティ計画」の策定にあたって



潮江東小学校区地域内連携協議会 会長 中野 隆史

私たちの住む地域にある高知県立高知南中学校・高知南高等学校が閉校になりました。少子高齢化社会が進む中で、教育活動の充実につながる統合であることと、南海トラフ地震で想定される長期浸水からの早期の学校再開は困難であることの2つが主な理由でした。

人口減少と自然災害は止めることは出来ませんが、地域住民の交流を活性化することで、いざという時に備えることが出来ます。電気・ガス・水道のインフラが整備されて、街の安全を消防や警察が守ってくれることで、人に頼らなくても生きていけると思いがちな近代では、人と人のつながりが希薄になり、近所同士でも挨拶しない、隣に住んでいる人もよく知らない、という状況になりつつあります。

それに伴い、町内会や各種団体への加入率も低下しており、周りの人とうまく関係がつかれずに孤立する人たちや、お互いが無関心な社会で都市型犯罪に巻き込まれるなど、地域コミュニティが廃れていくことで多くの問題が発生しています。

私たち「潮江東小学校区地域内連携協議会(通称:ひがし連携)」では、薄れつつある人と人とのつながりを、なんとかつくり出そうと、行政にご協力いただきながら、地域住民の皆様にも事前説明会やアンケート調査を実施して浮かび上がった課題を共有して意見交換や策定会議を重ねたうえで今回の「第1期潮江東地域コミュニティ計画(以下 第1期計画)」を策定しました。

「第1期計画」では、地域の皆様に情報発信していくとともに、親睦行事、子ども食堂、防災訓練、見守り活動などを通じて、地域の人びとが人間関係を確認し、新たな関係をつくる「こじゃんとつながるひがしのわ」を基本目標にしてのまちづくりを実行していきます。

最後になりましたが、今回の「第1期計画」の策定にあたり、ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。これからの5年間「ひがし連携」の活動に、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

## 「第1期潮江東地域コミュニティ計画」の策定にあたって



高知市長 桑名 龍吾

このたび、市民と行政の協働により「こじゃんと つながる ひがしのわ」を将来像とした第1期潮江東地域コミュニティ計画(以下、「第1期計画」)を策定いたしました。策定にあたり、ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

本市では、地域内連携協議会がその活動に計画性と実行性を持ち、将来にわたって持続的なまちづくりを行っていくための指針として、「コミュニティ計画」の策定を推進しております。

潮江東地域においては、潮江東小学校区地域内連携協議会(通称:ひがし連携)が中心となり、令和5年4月から第1期計画の策定に取り組んでいただきました。

第1期計画の策定にあたっては、住民の皆様の意見を反映するためのアンケート調査や事前説明会の開催など、役員の皆様を中心となり、しっかりと土台を築いたうえで、計画の策定に取り組まれました。潮江東小学校の子どもたちや多くの町内会長の皆様にもご協力いただき、地域の将来を検討する中で、地域の連携の輪が広がったことと思います。

第1期計画では、「つながり」をテーマに、子どもから大人まで幅広い層が、地域の情報に触れられるように、SNSや町内会掲示板などを活用した情報発信や、地域の集いの場づくり、防災・減災意識の向上を目指す取り組み、公園の清掃を通じた見守り活動など、多岐にわたる取り組みが盛り込まれています。また、ひがし連携が中心となって、地域内の各種団体をつなげていき、地域全体が活性化できるように応援していくことも謳われており、潮江東地域における活動計画として役割を果たすものとなっています。

本市といたしましても、第1期計画の実現に向けて、地域の皆様の声をしっかりと心に受けとめて、皆様とともに力を合わせて取り組んでまいります。

潮江東地域の皆様におかれましては、本計画をご覧いただき、多くの方が潮江東地域のまちづくり活動にご参加いただきますよう、心からお願い申し上げます。

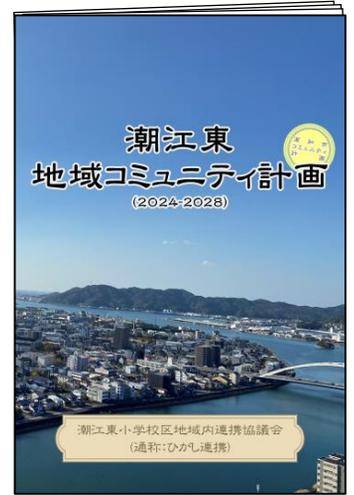


## 第1期潮江東地域コミュニティ計画について

本計画は、概ね5年後を見据え、今後潮江東小学校区（以下 潮江東地域）が目指すべき未来や、地域と行政の取組等を示した、地域の想いが込められた計画です。以前のコミュニティ計画（以下 旧コミュニティ計画）から長期間が経過したことや社会情勢の変化、地域の現状等を踏まえ、新たなコミュニティ計画を策定しました。

策定にあたり、地域の各種団体や各町内会の会長（代表）、小学校、小学校PTA、保育園等様々な方が参加し、潮江東地域の今後について一緒に考えました。

本計画を、潮江東地域における今後5年間の地域活動の指針として、潮江東小学校区地域内連携協議会（通称：ひがし連携）を中心に、地域のみなんで取り組んでいきます。



### 計画の概要

- (1) 計画期間は「概ね5年間」で策定・推進
- (2) 策定・推進の主体は「ひがし連携」
- (3) 登載事業は「住民主体で取り組めるソフト事業」

### 計画の推進

- (1) 毎年、計画の進捗状況を報告
- (2) 年度初めに取組事業（優先順位等）を確認
- (3) 年度末に取組事業の達成状況の確認



### 本計画に対する想い(理念)

本計画は、地域のみなんでつながるという想いのもと、以下の2つの想いを理念として掲げます。

#### 1. 地域のつながり

子どもからお年寄りまで、潮江東地域のみんなあが“こじゃんと（とても）”つながり、お互いの顔が見える関係を築き、大きな輪のように1つにつながった地域になりたい。

ともに笑い、支え合える関係で、些細なことも共有し合える地域になりたい。

#### 2. いざというときのためのつながり

今後30年以内に約70%～80%、40年以内に約90%の確率で発生するとされている南海トラフ地震では、津波が発生する確率が高く、潮江東地域では津波による被害が想定されている。

地震や津波が発生した時に備えて、災害時だけでなく、日頃から助け合えるようなつながりをつくる。

将来像

# こじやんと つながる

本計画は、「つながり」を理念に掲げており、5つの核となる基本目標は、「こじやんと つながる ひがしのわ」という将来像のもと、全てが連携し合っています。

ちいき

こじやんと笑顔

ひがし防災

# ひがしのわ

通信

つながる食堂

見守りのわ

具体的な取組については、  
次頁から紹介します!



## 計画のスケジュール

本計画は、以下のようなスケジュールで実施していく予定です。

### 実施期間

基本目標	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)
ちいき通信	準備	ホームページの保守・管理			
	準備	SNSでの周知			
	町内会掲示板の活用の継続				
こじゃんと 笑顔	準備	お祭り		お祭り	お祭り
	既存の活動への参加・応援				
つながる 食堂		検討・準備	食堂	検討・準備	食堂
ひがし防災	準備	移動防災教室	移動防災教室	移動防災教室	移動防災教室
	準備	SOSカードの作成・普及			
	準備	地区合同避難訓練		地区合同避難訓練	地区合同避難訓練
		防災マップの作成			普及
見守りのわ		見守りバッジの作成	普及		
	公園清掃	公園清掃	公園清掃	公園清掃	公園清掃
	交通安全指導・街頭指導の継続				

### 現在の活動

※既存の活動も継続して実施していきます!!

継続!

#### 行事カレンダーの発行



各種の地域団体や各町内会にご協力いただき、地域の行事を記載したカレンダーを4か月に1回発行し各町内会掲示板に掲示しています!

継続!

#### 連携活動推進事業



連携活動に係る連携・協力体制を検討するために、地域活動に積極的に関わっています。また、備品も共有し合い、地域活動の効率的な運営に繋がっていきます!

NEW!

#### コミュニティ計画の推進



策定した計画を推進していきます! 計画の推進にあたり、年度初めに事業の全体スケジュールを確認し、年度末に事業の進捗状況について確認し合います!

# ちいき通信

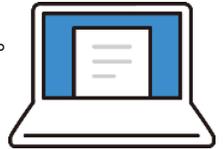
---地域のことを知ることがつながりづくりの第一歩---

## 1. ホームページの保守・管理

**目的:** おとな版アンケート調査結果や策定会議で、「地域団体の活動をよく知らない」という意見が多く出たことから、地域団体や活動の認知度向上のために行う。

**内容:** ホームページ開設後は、定期的にホームページを更新し、保守・管理を行う。  
ホームページには、地域の各種団体の活動等を掲載する。

**主体:** 潮江東小学校区地域内連携協議会



## 2. SNSでの周知

**目的:** おとな版アンケート調査結果から、10代~50代はSNS (LINE、Instagram、facebook等) によって、情報を入手していることが分かったため、若い世代に向けての情報発信の手段としてSNSを活用して広報を行う。

**内容:** 地域の各種団体の行事・イベント情報を掲載する。

**主体:** 潮江東小学校区地域内連携協議会



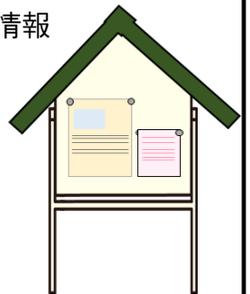
## 3. 町内会掲示板の活用の継続

**目的:** ホームページやSNSを使えない方や電子機器に慣れていない方等に向けての情報発信の手段として掲示板を用いる。

また、自然と目につく町内会掲示板を活用することで、幅広い方に情報を届ける。

**内容:** 各町内会に協力していただき、行事カレンダー等の町内会掲示板への掲示を継続する。

**主体:** 潮江東小学校区地域内連携協議会



## 行政・関係機関等のサポート



- 地域行事等の情報発信の支援について / 高知市地域コミュニティ推進課 088-823-9080

地域内連携協議会に対する地域行事への財政的支援では、予算内でのホームページの保守・管理にかかる費用の負担を認めています。

- 地域行事等の情報発信の支援について / 高知市広聴広報課 088-823-9446

高知市公式LINEアカウント内に、地域内への行事等の情報発信を行うための環境整備を行います。

- 町内会掲示板の設置支援について / 高知市町内会連合会 088-824-6562

町内の住民へのお知らせなどのために掲示板を整備する町内会に対して、高知市町内会連合会がその費用の一部を負担します。

02

## こじやんと笑顔

---地域のつながりを深めるためのきっかけづくり---

## 1. お祭りの開催

**目的:** 地域みんなのつながりをつくるためには、イベント等を通して顔の見える関係をつくるのが大切であり、つながりづくりのきっかけの場としてお祭りを開催する。また、お祭りの開催は地域の活性化にもつながるため、潮江東地域全体の活気付けを図る。

**時期:** 春または秋（年に1回）

**主体:** 潮江東小学校区地域内連携協議会、各種団体、各町内会

**備考:** すぐに開催できるような小さい規模のお祭りから始めて徐々に規模を大きくしていく。実施できることから取り組み、“顔見知りのわ”を広げ、いずれ大きいお祭りを開催する。

## 2. 既存の活動への参加・応援

**目的:** 潮江東地域で開催している行事やイベント（スポーツ大会やひがしっ子フェスタ等）に参加したり、お手伝いすることで地域の活動を後押しする。

既存の活動に参加する、応援することで、地域について知る。

また、地域の人がたくさん集まる機会にもなり、人と人がつながる人つむぎになる。

既存のスポーツ大会や区民運動会、ひがしっ子フェスタなどに参加し、各種団体の活動を応援する。



## 行政・関係機関等のサポート



○ 地域内連携協議会に対する地域行事への支援について / 高知市地域コミュニティ推進課 088-823-9080

地域が築き上げてきた、住民同士の助け合い・支え合いの活動が、より継続・発展していくために、地域内連携協議会に対して、財政的支援と人的支援の大きく2つの支援を行っています。

また、庁内において、地域共生社会推進本部を設置し、部局横断的な対応を要する地域課題の情報共有等も行っていきます。

その他、地域コミュニティ推進課ホームページで、毎月初旬に地域イベント情報を掲載しています。

■財政的支援（運営/活動） / 活動促進事業費補助金 上限40万円（年額）  
コミュニティ計画を策定し推進する場合 上限100万円（年額）

■人的支援 / 地域活動応援隊（58名）の配置 ※2024年（令和6年）3月現在、潮江東地域には5名の地域活動応援隊が配置されています。

03

## つながる食堂

----こどもからお年寄りまでみんなあのつながり----

## 1. こども・おとな食堂の開催

**目的:** こどもからおとなまで、みんなが集える居場所として、食堂を開催する。**内容:** 現在月に1回（第4日曜日）こども食堂を開催している「コパン飯」と協力し、規模を大きくしたこども・おとな食堂を開催する。

こども・おとな食堂では、潮江東地域の名物である“潮江菜”を用いた料理を提供し、食や食育を通じて、地域の歴史や文化を学ぶ。

みんなの居場所という意味も込めて、地域内にお住まいの外国籍の方や国際交流に興味のある方にも声をかけて、国籍を問わずつながれる居場所にする。

**期間:** 年に1回**主体:** コパン飯（こども食堂）、潮江東小学校区地域内連携協議会

## コパン飯を開催している徳平さんの想い

『地域の活性化にはコミュニティの場が必要！』  
そう思って活動していたのがきっかけです。こどももおとなも、一人でも家族でも「おいしいね」って言い合える場所。  
懐かしいと思える場所、新しい人と出会える場所。

一人ひとりそれぞれが色々な形でつながるコミュニティ！！

『美味しいものはみんなを笑顔にします！』

場 所: 潮新町1丁目(潮江双葉園の一本南の通り)  
日 時: 毎月第4日曜日12:00～14:00  
料 金: こども無料 おとな200円

## 行政・関係機関等のサポート



## ○ 国際交流の推進（国際交流員の派遣等）支援について / 高知市総務課 088-823-9955

異文化理解促進の一環として、地域のイベントやサークル活動などに、国際交流員を派遣する事業を行っています。交流員は、アメリカ、中国、インドネシア出身の3人がいます。

原則として平日9～17時の派遣ですが、土曜日、日曜日でもご相談は受け付けます。詳しくはお電話でお問い合わせください。

## ○ 子ども食堂や集いの場づくりへの支援について / 高知市社会福祉協議会 地域協働課 088-823-9570

子ども食堂や集いの場づくりへの支援として、必要な情報提供や相談対応、専門機関へのつなぎ等を行い、地域でのつながりづくりを支援します。

## ひがし防災

---「いざ」という時のために日頃のつながりを強化---

## 1. 移動防災教室の開催

**目的:** 潮江東地域のみんが防災について幅広く学び、潮江東地域全体の防災知識の向上を図る。**内容:** 潮江東地域のみんが防災について学べるように、各地区に出向いて防災教室を開催したり、防災について学べる場所にみんなで出向く。**主体:** 潮江東地区連合防災会、潮江東小学校区地域内連携協議会

## 2. SOSカードの作成・普及

**目的:** いざというときに、SOSカードで周囲の人に自身の情報を伝える。**内容:** SOSカードを作成し、活用方法等を地域に普及する。**主体:** 潮江東小学校区地域内連携協議会**※ SOSカードとは、災害が起こったときや日常生活で支援が必要なとき等、いざというときに周りの人に自身のことを伝えるツールのこと。名前や住所等の個人情報に加えて、アレルギー、持病等を記載できる。(注意: 様式によって記載内容は異なる)**

## 3. 地区合同避難訓練の開催

**目的:** アンケート調査結果や策定会議で重要度が高かった意見であり、潮江東地域では、南海トラフ地震が発生した際に津波被害が想定されていることから、いざという時に備えるため実施する。**内容:** 潮江東地域全体での避難訓練を実施する。**主体:** 潮江東地区連合防災会、潮江東小学校区地域内連携協議会

## 4. 防災マップの作成・普及

**目的:** 災害時に避難行動をすばやく行うための事前の備えとする。**内容:** ハザードマップをもとに、防災マップを作成し、地域に周知する。**主体:** 潮江東小学校区地域内連携協議会**※ 防災マップとは、災害の予測状況を示したハザードマップに、災害発生時の避難経路や避難場所、消防署等の避難関連情報を加えた地図。**

## 行政・関係機関等のサポート



## ○ 防災に関する講座等の開催への支援について / 高知市地域防災推進課 088-823-9040

地域における防災意識向上のため、学校や企業、町内会など地域住民に向けた防災講習会を開催しているほか、自主防災組織及び自主防災連合会が実施する防災学習・啓発に対して、費用補助を行っています。また、地域が開催する防災教室へ高知市地域防災推進課職員を講師として、無償で派遣することも可能です。

## ○ 災害時を想定した各種訓練の実施に係る可能な支援等について / 高知市地域防災推進課 088-823-9040

避難所運営マニュアルを活用した避難所開設・運営訓練に対し、備品の貸出しや訓練指導等の支援を行います。また、自主防災組織及び自主防災組織連合会が実施する防災訓練に対して、費用補助を行っています。

# 見守りのわ

----地域のみんなあでみんなあを見守りあえるつながり----

## 1. 見守りバッジの作成・普及

**目的:** 見守りバッジをつけることで、地域を支えている人（信頼できる人）が分かり、困ったことがあった時等に相談できる人（場所）になる。

また、見守りバッジをつけている人が、地域を見守ることで“つながりのわ”が広がり、地域の“顔見知りのわ”も広がる。

**内容:** 見守りバッジを作成し、地域の頼れる人につけてもらい、活動してもらう。

**主体:** 潮江東小学校区地域内連携協議会



## 2. 公園及び周辺の清掃

**目的:** 潮江東地域には、公園が多く存在しており、こども版アンケート調査結果でも課題の項目で「清掃」が多かったため、地域の見守りという要素も込めて公園及び周辺の清掃活動を行う。

**内容:** 公園やその周辺に落ちているごみや側溝のごみを中心に拾う（草刈りは除く）。

企業にも声をかけて協力してもらう。

**主体:** 潮江東小学校区地域内連携協議会

**期間:** 3か月に1回（1回3～4か所）／1年で全ての公園を清掃する（わんぱくこうちを除く）

## 3. 交通安全指導・街頭指導の継続

**目的:** 普段の生活の中で、見守る人を増やすためお手伝いとして参加する。

**内容:** 現在、交通安全指導や街頭指導を行っている団体のお手伝いをする。

また、街頭指導等をすると同時に地域の見守りも行う。

**主体:** 潮江東校区交通安全会議、潮江東校区交通安全母の会、潮江東小学校区地域内連携協議会

**備考:** 潮江東小学校区地域内連携協議会に所属している交通安全に係る団体が主体となる。



## 行政・関係機関等のサポート



### ○ 地域の見守り支援について / 高知市基幹型地域包括支援センター 088-823-9121

訪問型及び通所型B事業は住民主体の互助活動を基盤としたサービス類型で、地域のニーズに即した活動であることを支援する側と住民とが共通認識を持ち、地域包括支援センター、市社協のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）と協働し、住民主体の活動について伴走支援します。また、事業の運営方法については、住民活動が活性化できる仕組みとなるよう検討を進めます。

### ○ 地域が行う環境美化活動に係る支援について / 高知市地域コミュニティ推進課 088-823-9080

地域が一体となって行う清掃活動等について、ゴミ袋の提供、火バサミの貸与等を行っています。

### ○ 環境美化活動（環境選隊クリーンレンジャー等）の取組について / 高知市環境業務課 088-856-5374

地域が一体となって行う清掃活動について、事前に登録していただくことで、ごみ収集を行っています。また、地域から依頼があれば出前講座・啓発活動（環境選隊クリーンレンジャー等）の職員派遣を行います。



## コミュニティ計画について

高知市は、1991年度（平成3年度）策定の「高知市総合計画1990」において、総合計画と相互に補完・連携する各地区の居住地（コミュニティ）ごとのまちづくり計画を『コミュニティ計画』と位置づけ、市民と行政のパートナーシップのもと1993年度（平成5年度）から各地区において策定及び推進に取り組んできました。

各地区では、コミュニティ計画の策定に取り組む「コミュニティ計画策定市民会議」が順次設立され、これまでに1,200人を超える多くの市民が参加して、それぞれの計画案が作成されました。

計画案の市長への提言を受けて、本市では、庁内横断組織であるコミュニティ計画策定委員会及び幹事会での調整等を行い、28地区において「コミュニティ計画」を行政計画として策定するとともに、計画を実践する市民主導の自主的組織として各地区で設立された「コミュニティ計画推進市民会議」が中心となって、約20年にわたり計画登載事業の推進に取り組んできました。

また、2003年度（平成15年度）に施行した「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」において『コミュニティ計画の策定と推進』を本市の役割と位置づけるとともに、条例に基づく諸制度を推進してきました。

一方、各地区のコミュニティ計画策定から長期間が経過し、登載事業の多くが既に実施済みであることや、市内約3分の1の地域では計画が未策定であること、計画を策定した当時とは社会情勢が大きく変化していること等から、コミュニティ計画についても、将来的な地域のまちづくりを持続可能なものとするために見直しの必要性が生じています。

### 【参考】これまでのコミュニティ計画の考え方

市域全体を地域の視点で区分し、それぞれの地区において、土地利用のあり方や生活環境の保全・整備の課題等を検討する計画

各々の居住地（コミュニティ）で、そこに住む住民の参加と創造による住民自治をベースとし、相互理解と連帯のもと、人間性豊かな心のふれあう地域社会の形成を目指し策定する計画

策定に当たっては、その方法や計画の内容は、各々の居住地（コミュニティ）の特性に応じた多様なものとなる

## 地域コミュニティ再構築事業の展開

本市では、2010年度（平成22年度）から「地域コミュニティの再構築」に取り組んでいます。

これは、少子化・高齢化や人口減少の進行により、地域活動の担い手不足や住民同士の関係の希薄化といった問題が顕著となってきているなか、将来的にも地域内で住民や団体、また事業者等がお互いに支え合い、助け合えるような社会を作り、また、これからの地域課題の解決に向けて、地域と行政が手を携えて協力していこうというものです。

その中で、概ね小学校区を範囲に、地域内で活動する個人、団体、事業者等がゆるやかにつながり、地域の現状や課題を共有するとともに、課題の解決に向けて連携・協力していくためのプラットフォームとして、各地域での「地域内連携協議会」の設立を提案しています。2024年（令和6年）3月時点で市内31小学校区（30団体）において設立された地域内連携協議会では、各分野で活動する地域団体が参画し、地域の特性を活かした活動に主体的に取り組んでいます。その一方で、地域のまちづくりの方向性を見据えて、計画性と実効性を持った活動の推進が求められています。



## モデル地域におけるコミュニティ計画策定の方針

本市が設置する「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例見守り委員会」において、2015年度（平成27年度）に今後のコミュニティ計画のあり方について議論された結果、市民と行政の協働の理念に基づき、地域の意見を踏まえてコミュニティ施策の再検討を行うことや、PDCAサイクル（Plan・計画 → Do・実行 → Check・評価 → Action・改善）による計画の検証を実施すること等について、2016年（平成28年）4月に同委員会から市長に対して提言がなされました。

提言を受けて、本市では、現行のコミュニティ計画の考え方を踏まえ、市民と行政の協働を基本として、次に掲げる「計画の構成」、「計画策定・推進の主体」、「計画期間」といった視点を中心に、今後策定するコミュニティ計画について検討を行うこととしました。そこで、これまでのコミュニティ計画未策定の「久重地域」と策定済みの「よこせと地域」をモデル地域に選定し、2017年度（平成29年度）に「久重のまちづくり計画2017-2021」、2018年度（平成30年度）に「よこせとコミュニティ計画2018-2022」が策定されました。この結果を踏まえて検証し、新たなコミュニティ計画についての考え方を以下のとおり整理しました。



### 住民主体で取り組めるソフト事業を中心とする

本市では、2003年度（平成15年度）に都市計画区域におけるハード面でのまちづくりの方針や具体的な取組を示した「都市計画マスタープラン」を策定。2013年度（平成25年度）には対象区域を都市計画区域外も含む全市域に拡大し、全地域の地域別構想も盛り込んだ内容としました。これまでのコミュニティ計画に登載していた比較的規模の大きなハード事業は、都市計画マスタープランに登載されているものになります。

こうしたことから、これまでのコミュニティ計画では、ハード・ソフトを問わず、その地域に関係する事業を網羅するものになっておりましたが、新たなコミュニティ計画では、特に地域に関わる防災、福祉、教育、コミュニティ等の分野で、地域の方々の主体的な取組が想定されるソフト事業や、地域コミュニティに関係する比較的規模の小さいハード事業を中心とした計画に見直すこととしました。



### 計画策定・推進の主体は地域内連携協議会

新たなコミュニティ計画の策定・推進の主体は、地域内連携協議会としています。

これは、各地域で設立された地域内連携協議会において、コミュニティ計画推進市民会議をはじめとする地域の多くの団体が参画し、様々な視点から地域のまちづくりについて自由な意見が交わされる等、まちづくりに関わる中心的な団体となってきていることや、また、地域内連携協議会に参画する各種団体の連携・協力のもと、各地域の特性に応じた活動が実施されていることから、その活動に計画性と実効性を持たせ、将来にわたって持続可能なものとしていきたいと考えているものです。

本市では、地域内連携協議会の運営や活動を支援するため、会議での情報提供等を行う地域活動応援隊職員の配置による人的支援や、地域内連携協議会活動促進事業費補助金等による財政的支援を実施しています。また、高知市地域共生社会推進本部を中心に各担当部署との庁内横断的な連携・調整等を行うことで、市民と行政の協働によるまちづくりを目指しています。



計画期間は5年間

新たなコミュニティ計画では、策定や推進に関わる主体が目標の達成に向けて一定の見通しを立てやすくするように、計画期間を概ね5年間に設定しています。

一方で、将来に向けて持続可能なまちづくりの推進を実現するためには、単年度ごとの活動を通して計画性を持って取り組むことも必要であることから、PDCAサイクルの考え方に沿って進捗状況を確認しながら、随時、計画内容の見直しや更新を行っていきます。

地域においても、それぞれの活動状況等を把握しながら、各年度の事業計画を検討し、実施につなげていくことが望ましいと考えています。



コミュニティ計画と総合計画や各種関連計画との関係

「高知市総合計画1990」において、総合計画と相互補完する行政計画として位置づけたコミュニティ計画は、「2011高知市総合計画後期基本計画（計画期間：2021年度〈令和3年度〉から2030年度〈令和12年度〉）」においても、補完・連携するものとしています。

現在、本市を取り巻く状況の変化の中で、各部門別行政計画等との連携を通じた行政内部での部局横断的な対応が求められており、コミュニティ計画が地域における取組と行政の取組について、防災や福祉等の分野の枠を越えて機能的に結びつける役割を担うことが期待されており、その必要性は今後も高まっていくものと考えています。

国土強靱化基本法

高知市強靱化計画

指針  
となる

2011 高知市総合計画

前期基本計画：2011年度（平成23年度）～2020年度（令和2年度）

後期基本計画：2021年度（令和3年度）～2030年度（令和12年度）

2011 高知市総合計画…地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本的事項を定める計画

ふまえる

補完・  
連携

補完・  
連携

高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略

連携

その他各種行政計画

- ・高知市教育振興基本計画
- ・高知市下水道中期ビジョン
- ・高知市水道事業基本計画
- ・高知市地域福祉活動推進計画
- ・高知市公共施設マネジメント基本計画
- ・高知市都市計画マスタープラン
- ・高知市のコミュニティ計画 等

高知市のコミュニティ計画





## 旧計画(潮江東小学校校区コミュニティ計画)について

高知市では、1993年（平成5年）から概ね小学校区を単位として市民の皆様の参加と協力により、地域の将来像とその実現のための事業をまとめた「コミュニティ計画」を策定し、市民と行政のパートナーシップによるまちづくりを推進してきました。

高知市の中心部に近く、戦後いち早く市街化が進んだ潮江地区（潮江、潮江東、潮江南地域の3つの地域で構成された地区）においても、それぞれの地域でコミュニティ計画策定市民会議が設立され、約1年半かけてコミュニティ計画が策定されました。

その中でも潮江東地域では、1973年（昭和48年）から約18年の歳月を経て、潮江東部土地区画整理事業が完成の運びとなり、地域全体としてインフラが整備されました。そして、このインフラの整備を活かして、1997年（平成9年）3月に潮江地区コミュニティ計画策定市民会議潮江東小学校校区ブロック会が中心となり「歩いて中心街まで15分プラス静かで住みやすい潮江東」を将来像に定め、まちづくりの体系として、（1）公園を利用した街づくり、（2）地域交流の活性化、（3）公共施設の整備の3つを掲げた「潮江東小学校校区コミュニティ計画」を策定いたしました。



## 潮江東地域コミュニティ計画(新計画)の策定

上記で述べた「潮江東小学校校区コミュニティ計画」は策定から25年以上が経過し、多くの計画登録事業が実施済みまたは実施中であることや、社会情勢の変化、人口減少、少子高齢化、地域活動の担い手不足、住民同士の関係の希薄化等が顕著になってきたことなどから、地域のまちづくりを持続可能なものにするため、新たな計画づくりの必要性が生じてきました。

そこで、地域内での連携・協力による地域課題の解決を目指し、地域活動に関わる多くの団体が参画している「潮江東小学校区地域内連携協議会（2019年〈令和元年〉10月25日設立）」を検討の場として、地域にも幅広く呼びかけながら、地域の現状に沿った新たな『潮江東地域コミュニティ計画』を策定しました。今後は、この新計画を地域で推進していきます。



▲策定会議の様子



## 地域の現状

潮江地域は、鏡川の最下流に位置し、東部の浦戸湾、南部の鷲尾山山系等に囲まれ、北部には、梅ノ辻、百石町等の土地区画整理事業により宅地整備された市街地が広がっています。

高知港周辺は、近年の事業所の移転等により中高層マンションの立地が進み、住・工混在地となっています。

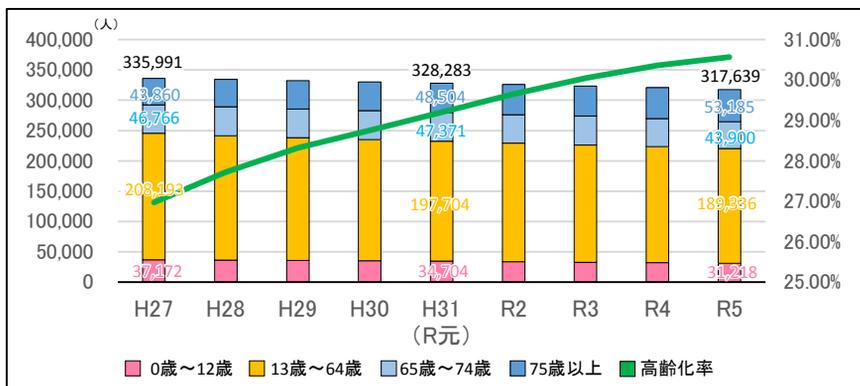
潮江地域の中でも、潮江東地域は、新興住宅地であり、潮江地区の他の小学校区に比べると比較的歴史が新しい地域で、都市型のコミュニティです。その一方、津波ハザードマップでは浸水地域に指定されており、地震発生時には、地盤沈下や液状化の恐れがあります。



対象地域  
潮江東地域(潮江東小学校区)

### 統計情報

高知市の人口・高齢化率の推移



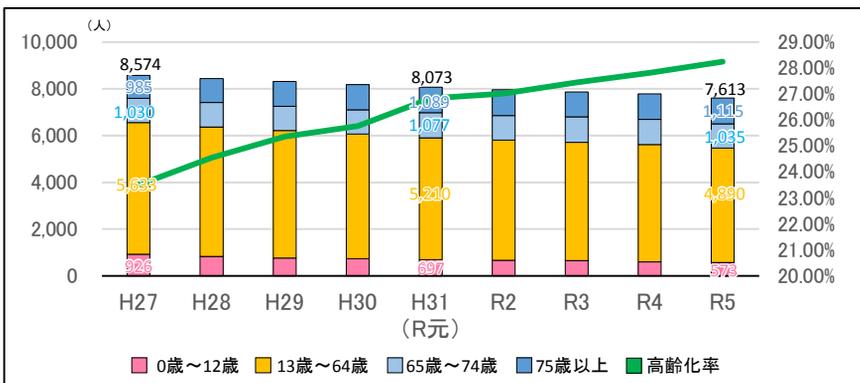
高知市全体として、人口減少が進んでいますが、高齢者（65歳以上）の人口は増加しています。

また、0歳～12歳の人口が著しく減少しています。

0歳～12歳 37,172人 → 31,218人  
13歳～64歳 208,193人 → 189,336人  
65歳以上 90,626人 → 97,085人

高齢化率については、平成27年から右肩上がりです。

潮江東地域の人口・高齢化率の推移



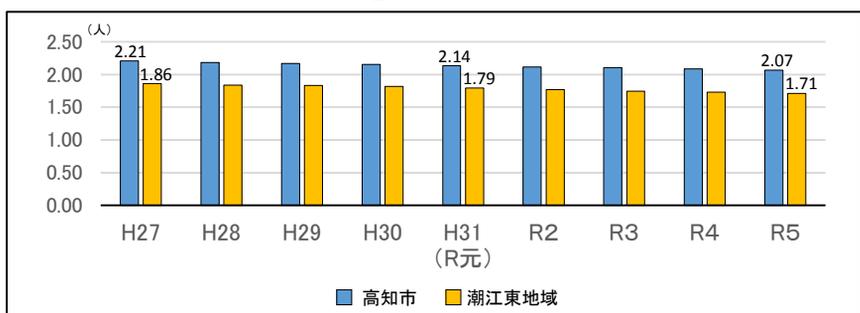
潮江東地域全体も高知市と同様に、人口減少が進んでおり、高齢者（65歳以上）の人口は増加しています。

また、0歳～12歳の人口が半数近く減少しています。

0歳～12歳 926人 → 573人  
13歳～64歳 5,633人 → 4,890人  
65歳以上 2,015人 → 2,150人

高齢化率について、高知市全体と比べると値は低ですが、平成30年から上昇しています。

高知市と潮江東地域の世帯平均人数の変化



高知市も潮江東地域も世帯平均人数が年々減少しています。

また、潮江東地域は世帯平均人数が2人以下になっており、単身世帯が多いと考えられます。

人口推移と世帯平均人数の推移の双方の面から考えると、75歳以上の方で一人暮らしの方が増加している傾向にあると考えられます。



## 地域の公園マップ



各公園の情報については、  
こちらの二次元コードから  
確認することができます。

- ① 萩公園
- ② 潮江東ノ丸公園
- ③ 役知公園
- ④ 中浜田公園
- ⑤ 潮公園
- ⑥ 北仲田公園
- ⑦ 新田公園
- ⑧ 南浜田公園
- ⑨ 仲田公園
- ⑩ 北浜田児童遊園
- ⑪ 棧橋通6丁目児童遊園
- ⑫ わんぱーくこうち

潮江東地域は、小さい公園から大きい公園まで12個の公園が設置されています（わんぱーくこうちを含む）。この公園は、各愛護会や町内会が日々の管理に努めてくださっています。地域で自慢できる公園を目指して、いつまでもきれいに、長く利用できるようにしていきましょう！！



## 地域の名物紹介

### 潮江菜



水菜の原種だと言われている野菜。昔は高知のお雑煮に欠かせない葉野菜として親しまれ、高知でごく普通に栽培されていたが、潮江地区では1958（昭和33）年を最後に、姿を消してしまった。

現在は、熊澤さん（新田町）の手により復活し、地元の小学校で栽培、調理にも利用され、児童たちに愛されている。

### ひがしっ子



潮江東小学校の在学、卒業生を表す言葉。このマークは、潮江東小学校50周年記念事業の際にひがしっ子のマークを募集し採用されたもの。2年生の「ひ」という文字を見た母親が「顔みたいで面白い！中に顔を書いてみたら？」と提案してきたマーク。潮江東小学校名物のひがしっ子まんじゅう・せんべいに利用されている。

### わんぱーくこうち



冒険心をかきたてられる自然いっぱい施設で、こどもたちがのびのび遊べる公園。

ライオン等約90種類の動物がいるアニマルランド、観覧車や遊具で遊べるプレイランド、アスレチックを設置した水辺散策広場等、園内は池を囲むように7つのゾーンに分かれている。

（住所：高知市棧橋通6丁目9-1）



## アンケート調査結果

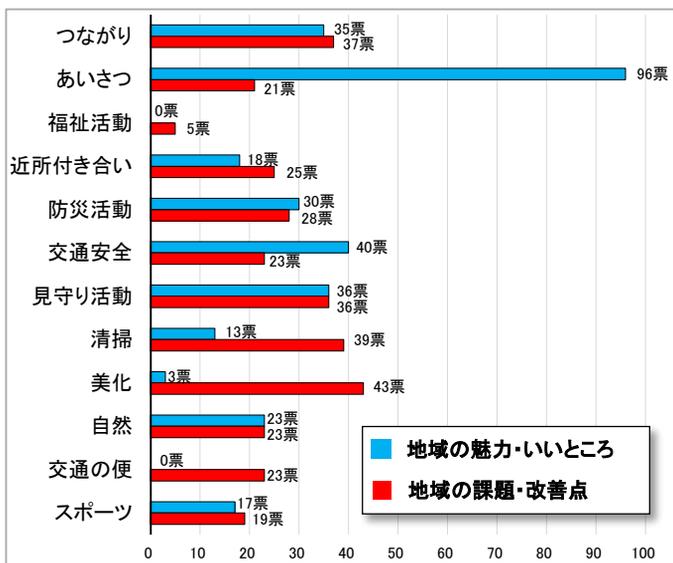
第1期潮江東地域コミュニティ計画の策定にあたり、ニーズや課題等の地域住民の声を集めるために、潮江東小学校で地域学習をしている小学5・6年生と、潮江東小学校区にお住まいの方（13歳以上）にアンケート調査を行いました。

アンケート調査結果の詳細については、右の二次元コードからご確認ください。

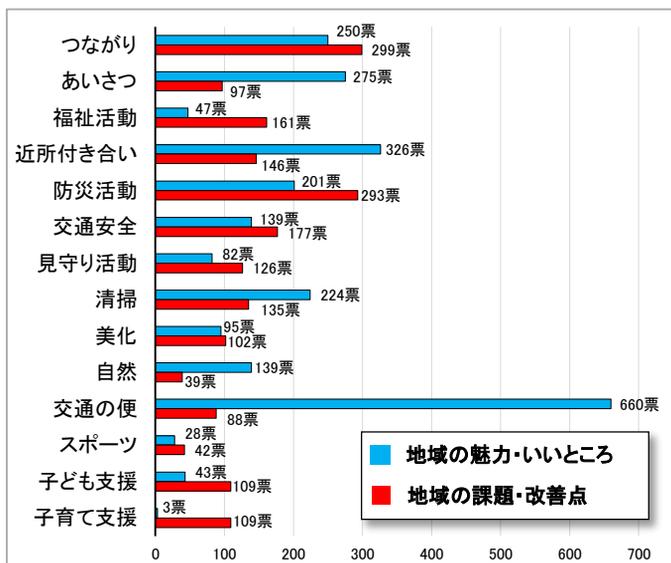


### 1 地域の「魅力」と「課題」の比較

<こども版アンケート>

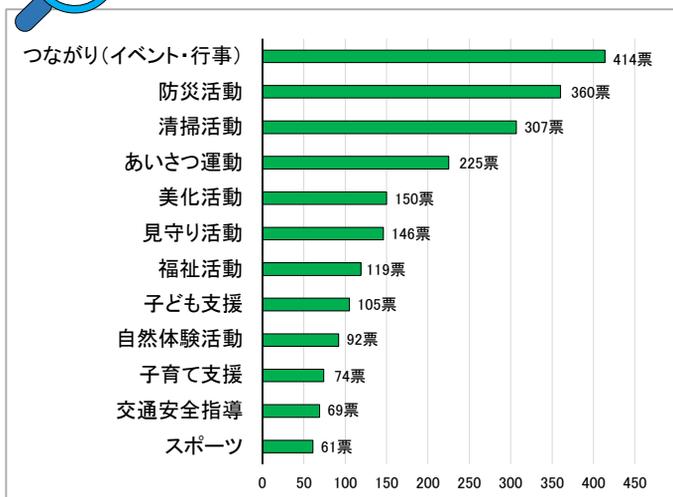


<おとな版アンケート>

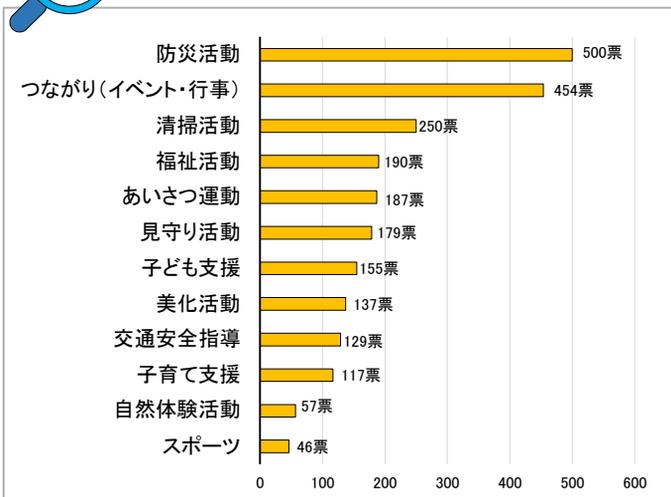


地域の魅力について、こども版アンケートでは、1位 あいさつ、2位 交通安全、3位 見守り活動、おとな版アンケートでは、1位 交通の便、2位 近所付き合い、3位 あいさつという結果が出ました。こどもも大人も「あいさつ」を上位に挙げていることから、日頃のあいさつをし合える関係が地域の魅力につながっていると考えられます。一方で、地域の課題について、こども版アンケートでは、1位 美化、2位 清掃、3位 つながり、おとな版アンケートでは、1位 つながり、2位 防災活動、3位 交通安全という結果が出ました。こどもは「美化」や「清掃」など地域の環境を最優先の課題として捉えています、大人は「つながり」や「防災」を最優先の課題と捉えており、こどもと大人で課題の優先順位に差があるということが分かりました。

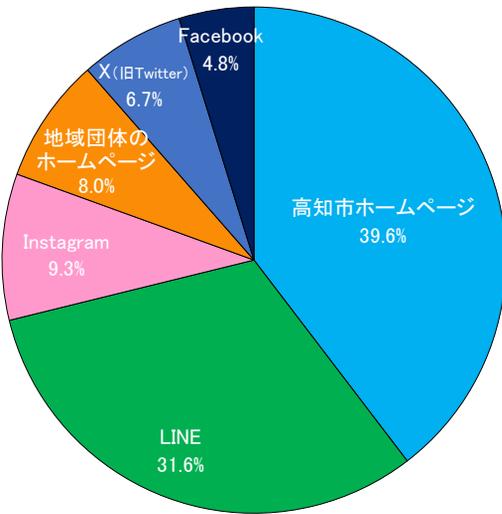
### 2 携わりたい活動



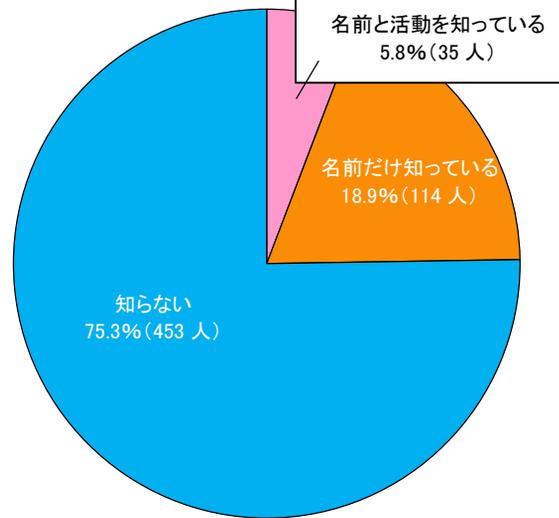
### 3 地域団体に望む活動



#### 4 情報機器での地域情報収集手段



#### 5 ひがし連携の認知度



#### 6 自由記述 ～こどもたちの声と地域のおとなの声～ ※一部抜粋

##### こどもたちの声

- ・もっと地域の人とつながりあって、協力できる地域になってほしい。
- ・みんなが仲良くすることでみんながうれしくなる。
- ・公園や自転車の使い方、道の通り方等を見回してほしい。
- ・事故等がない地域になってほしい。
- ・公園や学校、その他の道路等にごみ等がなく、きれいで豊かな潮江東地域になってほしい。
- ・公園にごみ等が捨てられない地域になってほしい。
- ・子どもたちも自分から進んでゴミ等を拾うために、ゴミを拾う行事みたいなものを作ったらいいと思う。
- ・公園をきれいにしてほしい。
- ・色々な楽しいイベントや活動をしてほしい。
- ・この地域が居心地がいいなと思われる行動をしてほしい。
- ・スポーツ等をして、長生きして地域の活動を続けてほしい。
- ・いつもやってほしい事をやってくれているので、ぜひ続けてくださいお願いします。ありがとうございます。



##### 地域のおとなの声

- ・人と人とのつながりを大切にしまちづくりをしてほしい。
- ・ゆるやかな雰囲気の中にも連携された地区になってほしい。
- ・情報を地域住民全員に知らせてほしい。
- ・今後高齢者が増えていくため、高齢者が元気でいられるような場所や、高齢者が子ども達を見守ってあげられる機会がほしい。
- ・必要とされると老人は元気になるので活躍する機会がほしい。
- ・防災訓練を定期的開催してほしい(地震が来た時、すぐ、どうしていいかわからず動けないので…)。
- ・地域、学校が一体となり老若男女が参加できる取組を実施してほしい。
- ・子どもの頃から身体を動かし、楽しむ生活をしていれば健康寿命も伸びると思う。
- ・潮江の文化として、伝承しながら残してほしいし、もっと知ってほしい。
- ・清掃活動を定期的に、小学生から大人まで、みんなで実施してほしい。
- ・活動には参加できませんが、活動してくださっている方には感謝しています。





## 計画策定の経過

潮江東地域では、以下のように市民と行政による協働でコミュニティ計画策定会議に取り組んできました。これまでの策定会議の経過について紹介します。詳細については、報告書を発行しておりますので、右の二次元コードからご確認ください。



### Step 1

#### アンケート調査

調査対象 潮江東小学校5・6年生(計81人)  
潮江東小学校区にお住まいの住民(7,040人)

調査期間 2023年(令和5年)5月19日～6月12日

調査方法 あかるいまち5月号と同時配布(4,530世帯)

回収率 小学生 71人/81人(87.6%)  
地域住民 602人/7,040人(8.6%)

※あかるいまち折り込み(3部ずつ)のため住民全員に配布できていないかは不明

#### 事前説明会



参加人数  
23人

日時 令和5年5月24日(水)18時30分～

内容 潮江東小学校区の基礎データの共有  
コミュニティ計画についての説明

### Step 2

#### 第1回策定会議

日時 令和5年6月23日(金)19時30分～

内容 アンケートの調査結果の共有  
潮江東地域の魅力・課題の整理  
5年後どんな地域になりたいかの検討



参加人数  
35人

### Step 3

#### 第2回策定会議

日時 令和5年7月25日(火)19時00分～

内容 潮江東地域の将来像の検討  
基本目標の検討  
既存の活動についての検討

参加人数  
31人

潮江東地域の将来像(テーマ)が決定しました!

#### こじゃんとつながる ひがしびと

子どもから高齢者まで、潮江東地域のみんなあが“こじゃんと”つながって、みんなが顔見知りになるような地域になりたい、ともに笑い合い、支え合える地域になりたいという強い想いが込められています!



### Step 4

#### 第3回策定会議

日時 令和5年8月23日(水)19時00分～

内容 今後5年間で取り組む事業の検討

参加人数  
34人

テーマ	事業名	具体的な取り組み
つながり	つながり推進事業	「つながり推進」をテーマとした、地域住民の交流促進を図る。地域住民の交流促進を図る。地域住民の交流促進を図る。
	高齢者支援事業	高齢者の生活支援、健康増進を図る。高齢者の生活支援、健康増進を図る。高齢者の生活支援、健康増進を図る。
	子育て支援事業	子育て支援、子育て世代の交流促進を図る。子育て支援、子育て世代の交流促進を図る。子育て支援、子育て世代の交流促進を図る。
	若者支援事業	若者の生活支援、就業支援を図る。若者の生活支援、就業支援を図る。若者の生活支援、就業支援を図る。
防災	防災訓練事業	防災訓練の実施、防災意識の向上を図る。防災訓練の実施、防災意識の向上を図る。防災訓練の実施、防災意識の向上を図る。
	防災啓発事業	防災啓発、防災意識の向上を図る。防災啓発、防災意識の向上を図る。防災啓発、防災意識の向上を図る。
	防災施設整備事業	防災施設の整備、防災力の向上を図る。防災施設の整備、防災力の向上を図る。防災施設の整備、防災力の向上を図る。
	防災人材育成事業	防災人材の育成、防災力の向上を図る。防災人材の育成、防災力の向上を図る。防災人材の育成、防災力の向上を図る。



Step  
5

第4回策定会議

参加人数  
31人

日時 令和5年9月27日(水) 19時00分～  
内容 これまでに検討してきた“今後5年間で取り組む具体的な事業”の実施可否等の検討



優先順位を決めて  
取り組みたい事業  
を発表!



Step  
6

計画冊子(案)検討会

参加人数  
14人

日時 令和5年10月25日(水) 19時00分～  
内容 地域の基礎データやアンケート調査結果、これまで実施してきた策定会議の内容を冊子にまとめる



将来像の変更/  
こじゃんとつながる ひがしのわ

Step  
7

第5回策定会議

参加人数  
31人

日時 令和5年11月29日(水) 19時00分～  
内容 計画冊子(案)の内容や構成についての協議



Step  
8

第6回策定会議

参加人数  
31人

日時 令和6年1月31日(水) 19時00分～  
内容 計画冊子(案)の最終確認



Goal  
9

市長報告会

参加人数  
27人

日時 令和6年2月21日(水) 19時00分～  
内容 計画冊子(案)の報告





## 地域の活動紹介(一部抜粋)

### 交通安全運動



県民交通安全の日、小学校行事、全国交通安全週間等に交通安全指導を実施し、1つでも交通事故が減るように努めています。

交通安全母の会では「交通安全は家庭から」を合言葉に、母親の立場から交通安全運動を実施しています。

### 潮江・港ジュニア消防クラブ



防災知識を学び災害時に的確な行動ができる基礎や行動を通じて仲間との協調性を身に付けることを目的に令和4年10月に結成しました。

地域の防災訓練等に参加し活動することで、地域コミュニティの活性化につながっています。

### 潮江東地区民・防災運動会



運動会を通じて、地区住民の親睦やコミュニケーションをつなげることを目的として、毎年10月第3日曜日に潮江東地区住民を対象に開催しています。

運動会競技に加えて、防災に関する競技も取り入れており、防災意識の向上にもつながっています。

### お地蔵様夏まつり



町内にある「延命地蔵」近辺で、高齢者や子どもたちとともに、地域の住民同士の親睦、交流を目的に、40年近く前から、8月上旬の日曜日に開催しています。

### 防災勉強会・防災訓練



南海トラフ地震に備え潮江東地区住民の防災知識の習得につなげる勉強会や地震発生後の避難所運営等に関する訓練を実施しています。

勉強会や訓練の参加者からは、「防災意識の向上につながった」「避難後の行動が理解できた」等の感想をいただきました。

### 4町合同夏祭り



毎年7月最終日曜日に、秋葉神社の夏祭りにあわせて、4町合同夏祭りを実施しています。

中学生以下の子どもにお楽しみ券を配布し、夏祭りを楽しんでもらっています。

### 七草がゆを食べよう会



毎年1月7日前後の日曜日に開催しています。北浜田児童公園で婦人部お手製の七草がゆを食し、日本の伝統行事を省み、老若男女の親睦、交流を深めています。

### ポッチャ



高齢者の交流の場として、毎月第2火曜日に潮江市民図書館2階で、ポッチャを開催しています。

継続してスポーツを続けることで、健康寿命を延ばし、心身共に元気に地域で暮らせることを目標にしています。

### 青少年の健全育成



小学校PTA行事(ひがしっ子フェスタ等)への参加、各種地域団体との連携を行い、青少年の健全育成につなげています。

また、小学校安全パトロール等への参加協力を行い、子どもたちの見守りにも取り組んでいます。

### 潮江第二双葉園

地域の子育て支援として、未就学児の園庭開放(ふたばっこひろば)や子育て相談を受けたりしています。ふたばっこひろばは、毎月2回、火曜日に行っています。

イベントとしては、ベビータッチケアやクリスマス会を開催しています。

### 潮江双葉園

地域の子育て支援として、未就学児の園庭開放を毎月第3水曜日に行っています。併せて、子育て相談もお受けしています。

### 年末一斉清掃・炊き出し訓練

潮新町2丁目では、毎年12月第3日曜日に、町内と潮公園の美化及び避難訓練を実施しています。



参画者紹介



中野 隆史



渡辺 智美



木原 勇一



手嶋 雄一



中野 和代



白岩 哲



田邊 直揮



西田 その



岡林 純子



徳平 仁美



黒岩 由理子



竹崎 有紀子



島崎 伸一



中山 堅



山本 哲也



仙頭 力



松田 良雄



三谷 定三



関田 憲雄



鎌田 昌典



高橋 晴雄



熊澤 秀治



富岡 慎之介



楠瀬 帆乃佳



参画してくれたメンバー

岡本 千代 中山 円 土居 貴之

高橋 裕忠 小谷 久美 田井 昭子



地域活動応援隊



青山 幸彦



生田 恵一



森本 貴文



中山 祐輔



堅田 大貴



増田 恵子



仙頭 みなみ

地域防災推進課

高知市  
社会福祉協議会



山地 芳佳



但野 稔子



下田 聖子



高橋 良輔

地域コミュニティ推進課



寺尾 倫彦



谷 達也



島崎 萌



大谷 萌

潮江東小学校区地域内連携協議会

# .. 役員の声

何年後も素敵な場所と繋がりを大切にできる場所に。そういう未来をつくるお手伝いがしたい!! そう思う気持ちでコミュニティ計画に取り組む中でどんどん強くなりました。もっともっとこの『わ』が広がっていく事を楽しみにしています!

徳平 仁美

策定にあたり、地域の皆さまの思いをたくさん聞くことが出来たと思います。改めて、防災をはじめ、この地域には、まだまだ沢山の課題が眠っていると感じました。『わ』を広げ、人を知り、当たり前にもみんなを助け合える・支え合える関係を築くことが地域の活性化にも繋がると思っています。

木原 勇一

1年間でコミュニティ計画を作り上げたのは大変でしたが、とても有意義な時間を共有させて頂きました。地域の子どもから大人まで共に笑い、支え合える地域にもっとなるように人と人を繋ぎ、未来へと繋ぐ。そうした地域であり続けていけたらと思います。

渡辺 智美

それぞれの場所で、  
皆さんが仲良きことは  
イイ事かな❤️❤️❤️

中野 和代

「おはよう」「おかえり」「さようなら」、夕方時間を忘れて遊んでいた「早う帰りや」。わたしが子どもの頃そうであった。ようにみんなが顔見知り声かけ合える町。そんな温かい町を、地域のみんなで作っていきます。とても楽しみです。

西田 その

「今の人は地域活動に無関心になってきた」と言われますが、きっかけが無いだけで、呼びかければ協力してくれる人もたくさんいると思います。なるべく地域のみんなが参加できるような「きっかけ」を増やしていければと思います。

手嶋 雄一

子どもの成長と共に地域交流から離れていきましたが、コミュニティ計画に微力ながら加わらせて頂き、繋がりの大切さを感じています。災害対策を含め、地域の団結が不可欠な時代に役立つことを願っています。

岡林 純子

第1回目の会議より地域の方からたくさんアイデアが飛び交い、始まったコミュニティ計画も早、終盤を迎えました。仕事の都合で参加できなかった会もありましたが、どの会も、笑顔飛び交う温かい話し合いだったと思います。これから5年間、いつまでも「つながり」を意識していける潮江東地域を目指したいと思います。参加させて頂きありがとうございました。

黒岩 由理子

1年間、計画の策定に携わることができ、何が行動することが必要と再認識しました。また、毎月、夜遅くまで策定会議に参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。潮江東地域コミュニティ計画はこれから本番となります。ひがし連携が中心となり色々な行動・活動を通じて「こじやんとつながるひがしのわ」を大々『わ』になるよう頑張っていきたいと思います!

田邊 直揮

初めて策定会議に参加し、潮江東地域の「これから」に関わることができて光栄でした。地域の目指す共有の目標が出来上がり、どのように事業を進めていくか、地域の一員として盛り上げていきたいです!

白岩 哲





高知市コミュニティ計画  
第1期潮江東地域コミュニティ計画  
(2024-2028)

編集・発行 2024年(令和6年)3月  
潮江東小学校区地域内連携協議会  
(通称:おかし連携)  
高知市市民協働部 地域コミュニティ推進課

